

令和6年司法試験短答式試験の結果を受けて

2024年8月1日

1 令和6年司法試験短答式試験の結果

本日、法務省大臣官房人事課より、令和6年司法試験短答式試験の結果が発表されました。結果は以下のとおりです。

受 験 者	：3,779人
	(令和5年：3,928人、令和4年：3,082人、令和3年：3,424人、 令和2年：3,703人、令和元年：4,466人)
採 点 対 象 者	：3,746人
	(令和5年：3,897人、令和4年：3,060人、令和3年：3,392人、 令和2年：3,664人、令和元年：4,429人)
合 格 点	：93点以上
	(令和5年：99点以上、令和4年：96点以上、令和3年：99点以上、 令和2年：93点以上、令和元年：108点以上)
合 格 者 数	：2,958人
	(令和5年：3,149人、令和4年：2,494人、令和3年：2,672人、 令和2年：2,793人、令和元年：3,287人)
平均点 (合格者)	：120.3点
	(令和5年：126.1点、令和4年：123.3点、令和3年：126.4点、 令和2年：118.1点、令和元年：129.3点)
平均点 (全体)	：112.1点
	(令和5年：118.3点、令和4年：115.7点、令和3年：117.3点、 令和2年：109.1点、令和元年：119.3点)
合 格 率	：約78.96%
	(令和5年：約80.81%、令和4年：約81.50%、令和3年：約78.77%、 令和2年：約76.23%、令和元年：約74.22%)

※ 合格率は、採点対象者に占める合格者数の割合で算出しています。

2 短答式試験の結果から読み取れること

(1) まず、「合格点」についてですが、平成29年から令和元年までの「合格点」は「108点以上」と高い水準でした。これらの年度の短答式試験においては、各科目の6割(合計105点)を正答しても、わずかに合格点には到達できないこととなります。

一方、令和2年から今年にかけて、近時の「合格点」は「93点以上」～「99点以上」の間で推移しており(今年の「合格点」は「93点以上」でした)、各科目の6割(合

計105点)を正答すれば、一応、合格点には到達できることとなります。そのため、来年以降も、短答式試験を突破する一応の目安として、「各科目の6割」を下回らない水準での得点を意識するとよいでしょう。

- (2) 次に、「合格率」を見ていきます。令和3年の合格率は約78.77%であり、令和元年から3年連続で70%を超えていたところですが(令和元年:約74.22%、令和2年:約76.23%)、直近2年は連続して80%台に到達していました(令和4年:約81.50%、令和5年:約80.81%)。一方、今年の合格率は約78.96%であり、再び80%台を割り込む形となりました。

仮に、来年以降も今年と同水準の合格点が継続すると考えた場合、70%台後半~80%前半の合格率も同様に維持されるものと考えられます。

- (3) それでは、科目別に見ていきます。まず、憲法科目の得点に関する全体の平均点については、以下のとおり推移しています。

令和元年:30.5点→令和2年:35.6点→令和3年:34.2点→令和4年:31.6点→
令和5年:31.4点→令和6年:28.1点

次に、最低ライン(40%)未満の者の数の推移については、以下のとおりです。

令和元年:180人→令和2年:47人→令和3年:75人→令和4年:113人→
令和5年:105人→令和6年:317人

これらのデータから、今年の憲法科目の難易度は、令和元年からの直近6年間の中で、最も難しかったものと考えられます。

- (4) 次に、民法科目の得点に関する全体の平均点については、平成29年改正民法が正面から出題されるようになった令和2年から順に、以下のとおり推移しています。

令和2年:43.8点→令和3年:48.9点→令和4年:47.3点→
令和5年:48.7点→令和6年:49.0点

次に、最低ライン(40%)未満の者の数の推移については、以下のとおりです。

令和2年:435人→令和3年:189人→令和4年:226人→
令和5年:331人→令和6年:192人

これらのデータから、今年の民法科目の難易度は、令和2年からの直近5年間の中で1~2番目に易しかったものと思われれます。

- (5) 最後に、刑法科目の得点に関する全体の平均点については、以下のとおり推移しています。

令和元年:31.4点→令和2年:29.6点→令和3年:34.3点→令和4年:36.8点→
令和5年:38.2点→令和6年:34.9点

次に、最低ライン(40%)未満の者の数の推移については、以下のとおりです。

令和元年:368人→令和2年:376人→令和3年:147人→令和4年:67人→
令和5年:28人→令和6年:122人

これらのデータから、今年の刑法科目の難易度は、令和元年からの直近6年間の中

で、中間に位置する程度のものでしょうか。

3 司法試験短答式試験に合格するためには

司法試験短答式試験に合格するには、一定の知識の量が必要なのは言うまでもありませんが、重要なのは「正確」な知識の量です。正しい理解を伴った知識でなければ、司法試験短答式試験を突破できるだけの正解を積み重ねることは難しいといえます。そこで、どのような問題が出題されたとしても、安定して高い得点をマークすることができるように、短答式試験対策を万全に講じておく必要があります。具体的には、過去問を数回解いた後、苦手な分野や過去に出題されていない分野に焦点を絞って「正確」な知識を補充することが重要です。予備校の講座や書籍を活用する等して相互の知識を関連付け、体系的・網羅的に学習することができれば、合格水準に到達することができるでしょう。

以 上